

平成30年9月27日
東部農林振興センター 松江農業普及部

標題 干し柿加工シーズンを前に「衛生管理研修会」を開催

(ダイジェスト)

平成30年9月21日に松江市の干し柿（あんぽ柿）生産者16名を対象に「衛生管理研修会」を2会場で開催し、昨年産の課題を踏まえて、衛生管理の徹底並びに商品率向上について確認しました。

松江市あんぽ柿部会（34名）は、安心・安全な干し柿づくりを目指し、毎年加工シーズン前に「衛生管理研修会」を開催しており、講師をJAしまねくにびき地区本部、農業技術センターおよび当農業普及部が務めました。

始めに、柿の生育状況と当面の管理、原料の生産場面で問題となっている発芽不良や樹上軟果にかかる管内での取り組みについて情報提供しました。

次に、昨年産のあんぽ柿での規格外品・廃棄品の発生状況を振り返り、「液だれ」「黒斑・黒変」等について原因や対策を確認しました。その上で、衛生管理の留意点や異物混入対策等基本的なことについて再確認しました。

生産者からは、粉ふきの発生条件・防止対策等についての質問が活発に寄せられ、出荷量・商品率の向上と衛生管理の徹底に対する意識の高さが伺えました。

今年産のあんぽ柿生産計画は17万個です。当農業普及としては、高品質な松江の干し柿がしっかり消費者に届き、生産者の所得向上に結びつくように支援していきます。



【大庭会場】